

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

平成30年3月時点

(前回申請：平成29年7月)

事業番号	★ D 17 - 8 - 11
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	山田地区（低地部）都市再生区画整理防犯灯設置事業
全体事業費	60,782（千円）（前回提出時 13,072千円： 47,710千円の増）

【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた山田地区において、震災復興土地区画整理事業に伴う市街地整備と併せ、夜間における防犯環境の整備と歩行者の通行の安全確保を図るため、必要な場所に適切な明るさの防犯灯を設置し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するものである。

【基幹事業との関連性】

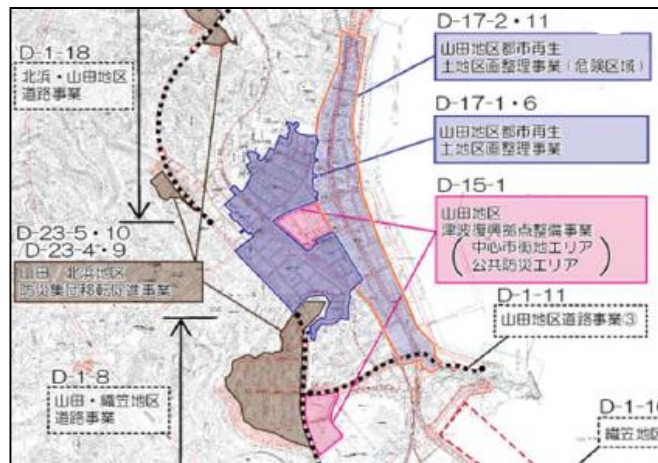
本事業は山田地区（低地部）都市再生区画整理事業に関連した事業であるが、事業区域内に防犯灯を整備することにより、安全性や防犯性の向上を確保するものであり、基幹事業の効果を促進するものである。

【当面の事業概要】

<平成29年度>	
本工事費等	13,072千円
<平成30年度>	
本工事費等	47,710千円
事業費合計	60,782千円

【関連する基幹事業】

D-17-2・11



【事業の内容】

- 防犯灯設置 151箇所（設置箇所は別添図面のとおり）
 - 平成29年度 電柱共架86箇所
 - 平成30年度 自立柱65箇所

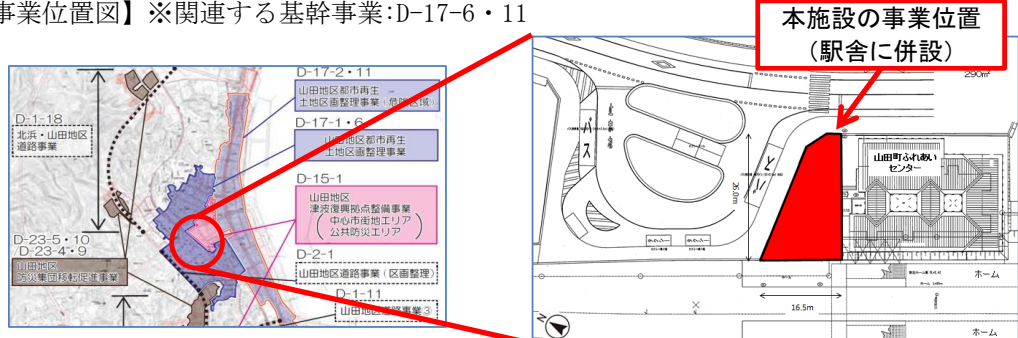
区分	事業費	内 訳	回答日
提出済額	13,072千円	平成29年度事業費	H29. 8. 2
今回提出額	47,710千円	平成30年度事業費	
合計	60,782千円		

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
 ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての都市再生区画整理調査設計事業-危険区域
 ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

平成30年3月時点

(前回提出：平成29年3月1日)

事業番号	★ D 17 - 9 - 1																				
要綱上の事業名称	(42) 観光交流・物産交流センター整備事業																				
細要素事業名	陸中山田駅観光案内・物産紹介施設整備事業																				
全体事業費	46,273 (千円)	(前回提出時 49,941千円 : 3,668千円の減)																			
		※按分率等の変更による減																			
<p>【事業概要及び東日本大震災の被害との関係】</p> <p>本町の観光業においては、東日本大震災により観光入込者数が震災前（H22年 651千人）から激減（H26年 330千人）し、甚大な影響が出ている。一方で、震災から6年が経ち、復旧・復興事業の進展により、主要観光施設の復旧や商業者、物産業者の再建が進み、回復の兆しを見せてはいるものの、観光客等への適切な情報発信の場が無いために、誘客数や購買量の増加につながっていない状況である。</p> <p>現在、線路の復旧とあわせ町の玄関口である陸中山田駅の再建が進められているが、本町の観光復興への共通指針となる「山田町観光復興ビジョン」（平成28年3月策定）において、当駅は「観光客への効果的な情報発信」（同ビジョンP113、6-1・(2)・④）の場として位置づけられており、駅舎の再建にあたり観光拠点としての機能強化が必要不可欠となっている。</p> <p>このことから陸中山田駅に観光案内及び物産紹介機能を併設することにより、観光客等への情報発信拠点としての機能を強化し、また町内体験型観光の玄関口とするなど施設そのものの利用促進を図る。これにより、区画整理地内の飲食店や小売店への客足が増えることで商業者の間に期待感が広まり、被災した事業者の再建や新たな商業施設の進出に弾みをつける。またこれら商業施設における水産加工品等の需要が高まることで、あわせて低地部における水産加工業者の再建や新規立地を促進するものである。</p> <p>本事業では、陸中山田駅に併設される観光案内・物産紹介施設の整備を行うものである。</p>																					
<p>【基幹事業との関連性】</p> <p>本施設により区画整理地内の商業施設への誘客を促すとともに、土地の利用促進につながるものであることから、区画整理事業の効果を促進するものである。</p>																					
<p>【当面の事業概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業年度</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>【参考】 駅舎整備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>測量設計費（詳細設計）</td> <td>5,260千円</td> <td>6,029千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成30年度</td> <td>測量設計費（工事監理）</td> <td>973千円</td> <td>1,115千円</td> </tr> <tr> <td>本工事費</td> <td>40,040千円</td> <td>45,884千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費合計</td> <td>46,273千円</td> <td>53,028千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※駅舎整備に伴う事業費53,028千円については、本事業の対象外</p>			事業年度	事業内容	事業費	【参考】 駅舎整備	平成29年度	測量設計費（詳細設計）	5,260千円	6,029千円	平成30年度	測量設計費（工事監理）	973千円	1,115千円	本工事費	40,040千円	45,884千円	事業費合計		46,273千円	53,028千円
事業年度	事業内容	事業費	【参考】 駅舎整備																		
平成29年度	測量設計費（詳細設計）	5,260千円	6,029千円																		
平成30年度	測量設計費（工事監理）	973千円	1,115千円																		
	本工事費	40,040千円	45,884千円																		
事業費合計		46,273千円	53,028千円																		
<p>【事業位置図】 ※関連する基幹事業:D-17-6・11</p> 																					
<p>【参考】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業費</th> <th>内 訳</th> <th>回答日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提出済額</td> <td>5,645千円</td> <td>平成29年度事業費（測量設計費）</td> <td>H29.3.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今回提出額</td> <td>▲ 385千円</td> <td>平成29年度事業費 ※按分率等の変更による減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>41,013千円</td> <td>平成30年度事業費（測量設計費、本工事費）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>46,273千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業費	内 訳	回答日	提出済額	5,645千円	平成29年度事業費（測量設計費）	H29.3.1	今回提出額	▲ 385千円	平成29年度事業費 ※按分率等の変更による減		41,013千円	平成30年度事業費（測量設計費、本工事費）		合計	46,273千円		
区分	事業費	内 訳	回答日																		
提出済額	5,645千円	平成29年度事業費（測量設計費）	H29.3.1																		
今回提出額	▲ 385千円	平成29年度事業費 ※按分率等の変更による減																			
	41,013千円	平成30年度事業費（測量設計費、本工事費）																			
合計	46,273千円																				

※ この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。